

活動名 : あづまガールズフットサルフェスティバル2020
日程 : 令和2年2月8日(土)・9日(日)
会場 : あづま総合体育館体育館
参加 : ガールズクラス 6名
帯同 : 小松・貝和コーチ
結果 : 8チーム中 準優勝
報告 : 小松コーチ

今年もやって来ましたこの季節、あづまU-12 ガールズフットサルフェスティバル2020。

今回は去年の設楽コーチから私小松が引き継がせて頂き1年間の月曜日ガールズ特別練習会を経て大会参加となりました。

途中私の水害対応の仕事などにより少し滞りましたが何とか大会参加にまで漕ぎ着けました。

本来であれば12月の体育館練習あたりから平常練習スケジュールもガールズが枠として確立して大会に向けての練習となりますが結果的に今年は特別練習会だけとなってしまいました

練習時間がうまく確保出来なかったこと選手達には大変申し訳ないと感じています

しかしそんな私を信じて頂き、雨の日も暑い日もそれこそ水害で市内が混乱している時でさえ選手を1番に考えて練習に出してくれた保護者の皆様その思い心から感謝しております。

ありがとうございます。そんな想いを胸に大会へ向けて練習出来たこと幸せでした。去年の設楽コーチの指導も沢山の好評を頂いていましたので、少し初めは戸惑いもあったことも事実ですがある意味選手みんなやコーチ達にキャラクターを作ってもらったので正直それに乗りながら演じさせて頂きました。

そんな中でも選手達と言葉以上の信頼関係、絆が芽生えたことまた沢山選手達に教えて頂きました。つくづく私は幸せ者だと思っております。

チームで言えば虹花ちゃんの骨折もありました。夏終わり頃、虹花ちゃん友達の真奈ちゃんがチームに合流してくれました。6年生としてチームの柱になっている花里菜ちゃんとまなかちゃん。2人にはそれなりの人として、日本人として、女性として、小学校最終学年として、クオリティを要求しなければなりません。

かと言ってそんな大きな選手と戦う晴香ちゃん。若干2年生でもあきらめず貪欲に戦って欲しいと思っています。またお兄ちゃんに引っ張られる感じでスポーツサッカーに出会い、まだまだ沢山の楽しさを感じなければならない美結ちゃん。下は2年生から6年生までアーシ魂を追求しなければなりません。

だからと言って私のチームでは、なく選手自らのチームです。私は、そんなチームがらしく戦えるための潤滑油サポーターなのです。

らしさ追求して欲しいと心から願っています。

いよいよ大会となれば開催規模、施設、大会参加チーム、環境どれを取っても毎年毎年素晴らしい、圧巻のひとつです。

県、公益財団法人福島県都市公園・緑化協会の御尽力には頭が下がります。何よりたくさん選手達の笑顔が物語っていると思います。逆にこれだけ沢山の選手の人生を創造しているスポーツ施設です。オリンピック会場にもなりました。これからも沢山の世代の沢山のスポーツシーンの創造期待しております。

さてここからは、少しスポーツサッカー的なお話も交えていきましょう。結果的には、勝負事には白か黒しかなくこれは何処まで行っても付き纏う話です。私達アーレもご多分に漏れず勝負事で言えば黒が多くなる結果となりました。これには、想像がつくと思います。敢えて言いませんがそれ以上であれば事務局からの大会結果表をご参考になさってください。

ただし、勝負は白か黒の世界それを超越した世界もあることは確かです。勝負は黒となりましたがゲームはほぼ互角観る者に訴えかけてくる何かはお伝え出来たのかなとも感じています。

では何を訴えていたのか…アーレらしい闇雲にボールを追っかけるあきらめない気持ち、高学年選手、取り分け大きな体格選手に物怖じせずに抜きにけるチャレンジする気持ち、点数に関係なく相手ゴール前まで突き進み隙あれば得点をもぎ取ろうとする自分自身を貫こうとする真っ直ぐな気持ち、とにかく純粹に今持てるチカラすべて戦いに挑んでくれました。

私の目標としては出来れば毎試合6年生2人は得点することを掲げていましたがサッカーはスポーツは甘いものでもありません。

でも大会2日間とも両方、2人とも得点はしてくれて最低限目標はクリアしてくれました。

チーム事情を考えれば充分納得かなとも思います。

ここでは大会前、花里菜ちゃんは風邪にかかり、お父さんお母さんからはどうする？の問い掛けはあったと伺いました。実際、2日目は時間を追うごとに体調が悪化してキレが悪くなる身体と頭痛、そして私から要求と鼓舞される人としての部分。それらが苛立ちとなり涙しながらの戦いにもなりました。それでも私は、人として、アーレとして、女性として、日本人として、小学校最終学年として要求し続けました。試合後お父様からみんなに迷惑になるのでキーパーなどの後方支援にまわらせてくださいとの話を頂きました。

辛くても最後まで戦う本人を尊重してお父さんお母さんも戦っていました。

私のアドバイスや要求にも、コーチ今のキツくないですか？やりすぎではないですか？の疑問、疑念を一点も抱かずのご提案を頂きました。選手達同様に花里菜ちゃんお父さんお母さんはアーレガールズが大好きなんだと心からありがたく感じましたが私の答えは、単純にして明確でした

私は潤滑油サポーターです。決めるのは選手達戦うのも選手達何か悪いことがあれば潤滑油私の責任。

なのでキャプテン花里菜ちゃん副キャプテンまなかちゃんを中心として答えを出

してくれました。

キーパーも全試合選手達全員で決めましたね。

心も身体も頭もすべてを使ってみんなで戦うのです。たとえそれは困難な納得しがたい結果が待っていようとその結果に甘んじることなくその先にある何かを求めて懸命に戦いました。

これだけは、言えます。選手全員各個人にシュートチャンスがあったこと、ややもするとそのシュートの何本かはゴールを破りそうだったこと。

最終試合では、すべてにおいてボロボロになって戦ったキャプテン花里菜ちゃんは涙しながら私の名前を呼びかけました。相当キツイ戦いだっと思います。

私もそこまで追い込まれで涙する花里菜選手に涙がたくさんたくさん出てしまいました。

お父さんお母さんも暖かく花里菜ちゃんを向かい入れてくれました。私にも笑顔を返して頂き私を心から信用して頂けたことまた選手達を通して勉強させて頂きました。

この選手達は試合ピッチ内外を通してずっとずっと一緒に居ました。もちろんお風呂もです。

歴代アーレガールズキャプテン副キャプテンは人間味に溢れ素晴らしいチームを構成してくれます。

大会中、真奈ちゃんはどんどん新しいキャラクターが出て益々ガールズを好きになってくれたんじゃないかと思います。

チームのムードメーカー虹花ちゃん。名前のようにそこに虹がかかり素晴らしい花が咲き誇ります。

大きなお姉ちゃん達とも物怖じせずに対峙した晴香ちゃん、お兄ちゃん達に負けず劣らずサッカー大好きですね。

大会中は、涙もしたけどいろいろなことを体験しましたね、美結ちゃん。ガールズ楽しいでしょう。

そして花里菜ちゃん、まなかちゃん

2人ともよくチームを引っ張りました。花里菜ちゃんがチームから離れてお父さんお母さんという時チーム選手みんなて迎えに行きました。

そんな仲間を2人は育てましたよ。

自分自身とも向き合いよくやり切ってくれました。

何ごとも結果ではなくやり切ることでよく学んでくれましたね。応援してくれた沢山の保護者の皆様にはたくさん伝わったことだと小松コーチは自負しています。

そして陰に日向に選手達をたくさんの暖かさで包んでくれてありがとうございます保護者の皆様。そんな大切な選手達に関わられて幸せな時間でした。時には私が癒されたこともありました。

そして陰に徹して1年間活動を支えてくれた貝和コーチ、熊坂コーチ、本当にありがとうございました。笑いの絶えない練習会ある意味選手達は笑いっぱなしだったのかもしれない。

ありがとうございました。

今回も沢山の学びと幸せがありやっぱり設楽アーレっていいなと再確認しました
設楽コーチのクラブです。今後の発展にもこれからも惜しみなく協力させていただきます。

よろしくお願いします。

最後となりましたがアーレガールズに応援に来てくださった橋本集ちゃん、渡辺も
もちゃん、本当にありがとう。ももちゃんは高校生になっても関わってくれての
応援、小松コーチには痛いほどその優しさが届いています。勉強になりました。あり
がとう。涙がやみませんでした。

こんなに沢山の想いが溢れた活動はそうそうにないことだと思っています。
ありがとうございました。

アーレガールズ担当小松大輔









